

2025年度

理事会会議案

2025年6月17日

 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会

福井支部

目 次

1 2024年度事業報告及び決算承認の件（第1号議案）

- 2024年度事業報告…………… 1
- 2024年度収支計算書…………… 6
- 貸借対照表・財産目録…………… 7
- 監査報告…………… 8

2 2025年度事業計画及び収支予算等の承認の件（第2号議案）

- 2025年度事業計画…………… 9
- 2025年度収支予算（案）…………… 14

【参考】 2025年度福井支部役員等…………… 15

参考資料…………… 16

[第 1 号議案]

2024年度事業報告及び決算承認の件

日本電信電話ユーザ協会福井支部は、公益財団法人として2大事業である「ICT活用推進事業」及び「テレコミュニケーション教育事業」の普及拡大に向け、各種施策や会員サービスの充実等に取り組んでいるところです。

2024年度におけるICT活用推進事業としては、全国で視聴可能なICTセミナーを北陸3支部合同で開催した他、本部ならびに他支部で開催しているセミナーについても福井支部内の会員のみならず非会員の方にも広く視聴いただきました。また、DXに関するeラーニングやワークショップ型の研修、テキスト生成AIを利用した新たな会員特典の創設等、参加される方々の要望・ICTリテラシー向上に貢献する施策を展開してきた一年でありました。

テレコミュニケーション教育事業としては、電話対応コンクールの予選会ならびに代表選考会を集合形式で実施し、9年ぶりに60名を超す選手に参加いただきました。また、競技模様はYouTubeにてオンライン配信し、より多くの方に視聴いただけるよう、会員の皆さまの要望、利便性等も考慮した施策を展開してきた一年でありました。

2024年度における具体的な実施状況は以下のとおりです。

1、テレコミュニケーション教育事業について

(1) 電話対応コンクール

2024年度の問題は、「伝えて、聴いて、つむぐ信頼」をテーマに掲げ、

自然な言葉のキャッチボールを通じて「お客様のお困りごとを解決」し、
「ニーズに適した商品をご提案」を目指し、競技に臨んでいただきました。

63回目となる「電話対応コンクール全国大会」の福井県予選会は、2024年
8月28日（水）武生商工会館に5年ぶりに選手が集合し開催しました。
競技には4地区から「18事業所、62名」が参加し、上位31名の成績優秀者
を選考しました。また、競技模様は YouTube にてリアルタイム配信を行い、
参加企業の皆様にも事業所等で対応模様を視聴いただきました。

予選会成績優秀者31名による福井県代表選考会は、2024年10月3（木）
福井商工会議所にて集合形式で開催し、福井県代表選手1名および入賞者4名と
新人賞1名を選考しました。当日は参加企業の関係者も多数来場され、同時に競
技模様を YouTube で配信し、会員企業の皆様に広く視聴いただきました。

11月には高知市で開催された全国大会で、各県代表56名と関係者等が集結し
開催しました。

福井県代表の高倉友愛さんは、大勢の観客の中においても特訓の成果を如何なく
発揮されましたが、残念ながら入賞には至りませんでした。

（実施状況）

大会等名	参加者数	地区協会別参加状況
県予選会	62名	福井：59、鯖江：1、武生：1、敦賀：1
県代表選考会	31名	福井：30、鯖江：1

(2) 電話対応技能検定

福井会場では、2級の技能検定を6月に、3級は5月、9月に、4級は5月、6月、9月、12月、3月に福井県生活学習館等で実施しました。

(実施状況)

受験種別	人数	地区協会別状況(人数)
2級 受験	1名	福井：1名
2級 資格取得	1名	福井：1名
3級 受験	14名	福井：12名、敦賀：2名
3級 資格取得	10名	福井：7名、武生1名、敦賀：2名
4級 受験	29名	福井：27名、敦賀：2名
4級 資格取得	21名	福井：20名、敦賀：1名

(3) 電話対応等研修

4月には新入社員を対象とした「接遇・マナー、電話対応研修」を実施しました。11月には入社歴の浅い方や接客業務従事者等も対象とした「フォローアップ研修」を実施し、新入社員には入社後の振返り、その他の方には更なるスキルアップを図っていただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、集合型研修への参加者が減少傾向となっていました。が、昨年はコロナ前まで回復し、新人向けならびに電話対応・接遇マナースキル向上研修として定着化を図ることができました。

また、各企業に出向いた研修の申込みもあるなど、商工会議所との連携効果により参加者数の増加に加え、新たに参加された企業も増えるなど、協会事業の理解促進と価値向上が図れました。

(実施状況)

種 別	回数	参加者数	地区協会別状況(回数)
新 入 社 員 研 修	4回	88名	嶺北：3回、嶺南：1回
フ ォ ロ ー ア ッ プ 研 修	3回	37名	嶺北：2回、嶺南：1回
出 前 研 修	3回	43名	AOI ホールディングス(株) (株)ALL CONNECT 税理士法人 川中経営
合 計	10回	168名	

2、ICT活用推進事業等について

(1) 情報通信に関するセミナー

NTT 西日本福井支店の支援を仰ぎ、地区総会や部会等と連動し、ICT の最新情報や地域の課題解決へヒントとなるセミナーを開催しました。

また、北陸3県合同セミナーをはじめ、協会各支部との連携によるオンラインセミナーを多数開催し、多くの会員様等にご参加いただきました。

ICT関係及び経済・国際・文化情勢を反映した講演会ならびにセミナーの実施状況は以下の通りです。

(実施状況)

種 別	回数	参加者数	開催地区等
ICT関係	4回	53名	支部理事会、大野・勝山／武生／鯖江 定時総会
	1回	40名	北陸3県合同開催
	1回	15名	福井商工会議所 (ノーコードツール体験会)
	15回	163名	本部、他支部開催
経済・国際・文化及びICT関係	3回	136名	福井、敦賀、小浜
合 計	24回	407名	

3、地区協会別の会員数状況

2024年度末の会員数は482会員となり、前年度末より21会員減少しました。

項 目	福 井	大野 勝山	武 生	鯖 江	敦 賀	小 浜	計
2023年度末	233	27	64	46	90	43	503
入 会	4	1	0	0	0	0	5
退 会	13	3	3	2	5	0	26
純 増 減 数	▲9	▲2	▲3	▲2	▲5	±0	▲21
2024年度末	224	25	61	44	85	43	482

「石川支部」▲31、「富山支部」▲6

【退会理由】

- ① 経費節減等の会社経営判断（全国平均 47.3%、福井支部 58.6%）
- ② 会社又は事業所の統廃合・倒産等（全国平均 14.5%、福井支部 11.5%）
- ③ その他（全国平均 9.4%、福井支部 12.6%）

（参考）会員減少数

2020年度:▲26、2021年度:▲28、2022年度:▲19、2023年度:▲22

2024年度 収支計算書

福井支部

2024年度 収支計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(1) 収入の部		(金額単位：円)		
勘定科目	科目	決算額 (A)	予算額 (B)	差額 (A) - (B)
事業収入		5,505,431	5,388,500	116,931
	電話応対競技会収入	3,804,306	3,068,500	735,806
	セミナー等収入(公1)※1	629,480	917,000	△ 287,520
	セミナー等収入(公2)※2	55,614	432,000	△ 376,386
	セミナー等収入(その他)※3	0	0	0
	電話応対技能検定収入※4	391,430	371,000	20,430
	情報提供収入※5	1,091	0	1,091
	事業共益収入	623,510	600,000	23,510
雑収入		323	0	323
	受取利息収入	323	0	323
内部取引収入※7		1,050,000	900,000	150,000
(当期収入合計)(ア)		6,555,754	6,288,500	267,254
前期繰越収支差額		1,016,973	1,016,973	0
収入合計(イ)		7,572,727	7,305,473	267,254

(2) 支出の部		(金額単位：円)		
勘定科目	科目	決算額 (A)	予算額 (B)	差額 (A) - (B)
事業費		4,949,808	4,788,500	161,308
	電話応対競技会費	3,848,249	3,068,500	779,749
	セミナー等費(公1)※1	640,585	917,000	△ 276,415
	セミナー等費(公2)※2	55,740	432,000	△ 376,260
	セミナー等費(その他)※3	0	0	0
	電話応対技能検定費※4	398,960	371,000	27,960
	情報提供費※5	1,091	0	1,091
	ユーザ意見交換費※6	5,183	0	5,183
管理費		926,774	954,500	△ 27,726
	会議費	272,810	300,000	△ 27,190
	諸経費	653,964	654,500	△ 536
内部取引支出※8		681,613	823,000	△ 141,387
(当期支出合計)(ウ)		6,558,195	6,566,000	△ 7,805
当期収支差額(ア)-(ウ)		△ 2,441	△ 277,500	275,059
次期繰越収支差額(イ)-(ウ)		1,014,532	739,473	275,059
支出合計		7,572,727	7,305,473	267,254

※1 セミナー等収入(公1)、セミナー等費(公1)：電話応対、ビジネスセミナー等研修事業にかかる収入、費用

※2 セミナー等収入(公2)、セミナー等費(公2)：ICT活用推進事業にかかる収入、費用

※3 セミナー等収入(その他)、セミナー等費(その他)：講演会等その他セミナー推進事業にかかる収入、費用

※4 電話応対技能検定収入、電話応対技能検定費：電話応対技能検定事業にかかる収入、費用

※5 情報提供収入、情報提供費：HP作成、メールマガジン作成にかかる収入、費用

※6 ユーザ意見交換費：ユーザと通信事業者との意見交換会にかかる費用

※7 内部取引収入：支部運営経費等の地区協会負担金(通信料、年会費請求・回収委託費等)

※8 内部取引支出：本部運営経費の負担金(社内システム使用料、通信料等)

2024年度 貸借対照表

福井支部

2024年度 貸借対照表

2025年3月31日現在

(金額単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
勘 定 科 目		金 額	勘 定 科 目		金 額
大 科 目	中 科 目		大 科 目	中 科 目	
流 動 資 産		853,526	流 動 負 債		38,328
	現 金 預 金	574,431		未 払 金	38,328
	未 収 金	889,494			
	前 払 金	13,640			
	内部貸付金	△ 624,039			
固 定 資 産		199,334	負 債 合 計		38,328
	その他固定資産	199,334	正味財産の部		
			一 般 正 味 財 産	正 味 財 産	1,014,532
			正 味 財 産 合 計 (正味財産増減額)		1,014,532 (△2,441)
資 産 合 計		1,052,860	負債及び正味財産合計		1,052,860

2024年度 財産目録

2025年3月31日現在

(金額単位：円)

勘 定 科 目		明 細	金 額
大 科 目	中 科 目		
流 動 資 産	普 通 預 金		853,526
			574,431
		福井銀行本店営業部	574,431
	未 収 金		889,494
		業 務 提 携	889,494
固 定 資 産	前 払 金		13,640
		そ の 他 前 払 金	13,640
	内 部 貸 付 金		△ 624,039
		協 会 本 部	△ 624,039
			199,334
固 定 資 産	そ の 他 固 定 資 産		199,334
		そ の 他 の 固 定 資 産	199,334
資 産 合 計			1,052,860
流 動 負 債			38,328
	未 払 金		38,328
		そ の 他 未 払 金	38,328
負 債 合 計			38,328
正 味 財 産			1,014,532

2024年度 監査報告

監査報告書

2024年度の財務諸表及び関係書類は、適法かつ正確であることを認めます。

2025年 5月19日

監 事

福井市順化1丁目1番1号

株式会社 福井銀行

執行役 本店エリア統括店長兼本店営業部長 谷 口 幸 徳



監 事

敦賀市本町1丁目11番7号

敦賀信用金庫

常務理事 総合企画室長 松 中 尚



〔第2号議案〕

2025年度事業計画及び収支予算等の承認の件

2025年度の事業運営においては、これまで培ったICTを活用したリモート方式等の事業運営方法を更に進化させながら、公益財団法人として普く広く協会事業のプレゼンス向上に向け、これまで以上に福井支部内の商工会議所との連携強化を図り、協会会員のみならず商工会議所会員の方々等にも、事業運営の発展に資するような情報発信、活動の充実を図って参ります。

ICT活用推進事業については、中小企業のDX導入支援や最新のセキュリティ対策、近年話題となっているAI等の活用事例などの紹介を、全国で視聴が可能なオンラインICTセミナー、ICT講座等にて積極的に情報発信して参ります。

あわせて、各商工会議所や各ステークホルダーの皆様と連携した地域密着型セミナー開催等にも積極的に取り組みます。

その他、DXワークショップ研修の更なる充実、テキスト生成AI特典の利用者拡大に向け、活用シーンに関して動画による情報提供なども積極的に取り組みます。

テレコミュニケーション教育事業においては、時代のニーズに合致した電話対応関連施策のICT化、および、適切な名称等の検討・取組みを推進します。

電話対応コンクール、企業電話対応コンテスト、電話対応技能検定等を通じて、参加企業における電話対応品質の向上や参加者のスキルアップ等にお役立ていただけるよう更なる改善を行います。また、テレコミュニケーション事業の一つとして、根強い人気があります「新入社員研修」「フォローアップ研修」「クレーム電話対応力向上研修」など、各種研修の更なる充実化と講師のスキル向上にも努めて参ります。さらに、会員特典として年々利用者が拡大しています「eラーニングサービス」「ウィルスメール

訓練」等についても、その有効性を積極的に発信し、会員企業の人材育成の一環としてお役に立てるよう務めて参ります。

当協会では、各商工会議所等との連携を更に強固なものとし、中小企業の皆様へDX導入やICT活用の一助となる事に加え、テレコミュニケーション教育事業への参加者拡大を目指すために、協会ホームページや情報誌、メールマガジン、公式SNSや各種広報メディア等を活用して情報を広く周知、発信していくことにより、ICT活用推進事業やテレコミュニケーション教育事業の推進を通じて、地域課題の解決や地域活性化に寄与した事業展開を目指して参ります。

I 基本方針

ICT活用推進事業については、業務改革やコスト削減等の様々な課題解決に向けたDX導入や、不安定な世界情勢等を背景に対策が急務となっている情報セキュリティ、テキスト生成AI等の最新技術のICT活用事例のご紹介や会員特典により、皆様の課題解決にお役立ていただける情報発信を積極的に行って参ります。また、テレコミュニケーション教育事業については、より多くの方にご活用いただけるように広く事業紹介及び参加勧奨を行うとともに、時代の変化に合致した内容の充実やICT導入等に取り組みます。

II 具体的な取り組み

1. ICT活用推進事業

- (1) ICT活用推進事業については、好評いただいています北陸3支部合同による著名人を講師としたオンラインセミナーや本部ならびに他支部開催のオンラインセミナーにおいても各種媒体で周知を強化するなど、ICTを活用した取り組みを

積極的に実施してきました。

- (2) 2025年度においても、引き続き企業の課題解決や生産性向上に向けたDXの導入や、不安定な世界情勢を背景に更に意識が高まっている最新の情報セキュリティ対策、テキスト生成AI等の企業での利活用シーンに関する情報、ICTを活用した企業の働き方改革、地域課題・まちづくりを解決するICTなどをICT活用推進セミナーの主要テーマとしてご提供して参ります。
- (3) あわせて各商工会議所や各ステークホルダーの皆様と連携した地域密着型セミナーについても積極的に開催して参ります。

2. テレコミュニケーション教育事業

- (1) 電話対応コンクールについては、最近の若者を中心とした「電話恐怖症」克服への処方箋として、未参加企業、未参加事業所への積極的な参加勧奨を行う等、更なる参加拡大に取り組みます。また、大会模様をより多くの方にご覧いただけるように今年度も継続して YouTube による映像配信を行うこととします。さらに、参加事業所および参加者にとって有益な施策となるよう、内容の充実化、改善等にも取り組んで参ります。
- (2) 企業電話対応コンテストについては、様々な機会をとらえて事業参加の働きかけを行い参加拡大に取り組みます。また、参加いただいた企業には、業務の振り返りにいち早くお役立ていただけるよう、引き続きICTを活用した報告書のデジタル提供を行います。

(3) 電話対応技能検定については、高校・大学等教育機関や新たな企業に対して検定の仕組みを育成手段として活用いただくことについて提案するとともに、合格者に対し上位級へのチャレンジを促すなど、受検者数の拡大に取り組みます。また、4級筆記試験にＩＢＴ方式（インターネット方式）を導入し、受検者の利便性を向上させ、裾野の拡大を図ります。

(4) 電話対応・ビジネスマナー等研修については、集合形式の他、リモート方式等ＩＣＴを活用し、受講者が参加しやすい方法で開催するとともに、参加者のビジネススキルの向上等にお役だていただけるよう内容の充実に取り組みます。

3. 会員サービスの充実および新規会員獲得活動の強化

今後とも会員企業のご意見を積極的にお聞きし、会員の方々の満足度の向上を目指すとともに、ＩＣＴセミナー等に参加いただいた会員以外の方へも、当協会事業に対する認知度向上に向け、更なる情報提供やイベントへの参加勧奨等を積極的に行い、新規会員獲得活動を強化して参ります。

また、当協会自身がＩＣＴ活用モデルとなるべく、積極的にＤＸ等の導入を図るとともに、協会業務の効率化・集約化など、さらなる改善にも取り組んで参ります。

＊事業活動の具体的な取り組みは、別表のとおりです。

(別 表) 具体的な取り組み

事業活動内容	実施予定時期	会員費用
1、テレコミュニケーション教育事業		
(1)「電話対応コンクール」		
・電話対応コンクール事前研修 集合形式(別途、YouTube 配信)	6月5,10,12日	無料
・県予選大会(集合形式) 競技会場:武生商工会館	8月28日	無料
・電話対応コンクール強化研修 集合形式 ※代表選考会参加者対象	9月10,11,12日	無料
・県代表選考会(集合形式) 競技会場:調整中	10月16日	無料
・全国大会(仙台市・仙台サンプラザホール)	11月14日	無料
(2)「企業電話対応コンテスト」 (受付期間=5月1日~7月20日)	7月下旬 ~9月中旬	有料
(3)「電話対応診断」	随時	有料
(4)「電話対応技能検定」		
前期=3級講義(福井県生活学習館)	4月16日,23日	有料
3級講義・試験、4級試験(福井県生活学習館)	5月7日	有料
2級講義(福井県生活学習館)	5月13日,21日	有料
2級講義・試験(福井県生活学習館)	6月4日	有料
3級講義(福井県生活学習館)	8月22日,29日	有料
3級講義・試験、4級試験(福井県生活学習館)	9月3日	有料
後期=4級試験(福井県生活学習館)	12月3日	有料
(5)「電話対応・ビジネスマナー等研修」		
・新入社員 接遇・マナー電話対応研修(福井)	4月8,9,10日	無料
(敦賀)	4月4日	無料
・新入社員 フォロー研修(福井)	11月中下旬	無料
(敦賀)	11月中下旬	無料
・クレーム対応研修会(リモート形式)	調整中	無料
・カスタマーハラスメント対応研修	調整中	無料
・会員事業所先電話対応研修[出前]	随時	有料
2、ICT活用推進等事業		
(1)ICTビジネスセミナー	12月上旬	無料
(2)セミナー等の実施による経営、ICT 関連情報提供		
・福井地区	7月23日	無料
・大野勝山地区	7月11日	無料
・武生地区	7月17日	無料
・鯖江地区	7月 日	無料
・敦賀地区	7月15日	無料
・小浜地区	7月10日	無料
(3) 標的型攻撃メール対応訓練サービス及び eラーニングサービスの実施	毎月 毎月	無料 無料
(4) 情報通信に関する最新情報の提供		
・「テレコム・フォーラム」の配付	毎月	無料
・福井支部HP及び機関誌へのチラシ折込み実施	随時	無料
・福井支部ニュース発行	随時	無料

2025年度予算（案）

2025年度 収支予算(案)

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(1) 収入の部

(金額単位：円)

勘 定 科 目		予 算 額	前 年 度 予 算 額	差 額
大 科 目	中 科 目	(A)	(B)	(A) - (B)
事 業 収 入		5,550,000	5,388,500	161,500
	電話対応競技会収入	3,774,000	3,068,500	705,500
	セミナー等収入(公1)※1	900,000	917,000	△ 17,000
	セミナー等収入(公2)※2	170,000	432,000	△ 262,000
	電話対応技能検定収入※3	106,000	371,000	△ 265,000
	事 業 共 通 収 入	600,000	600,000	0
雑 収 入		0	0	0
内部取引収入※4		1,200,000	900,000	300,000
(当期収入合計)(ア)		6,750,000	6,288,500	461,500
前期繰越収支差額		1,014,532	1,016,973	△ 2,441
収 入 合 計 (イ)		7,764,532	7,305,473	459,059

(2) 支出の部

(金額単位：円)

勘 定 科 目		予 算 額	前 年 度 予 算 額	差 額
大 科 目	中 科 目	(A)	(B)	(A) - (B)
事 業 費		4,950,000	4,788,500	161,500
	電話対応競技会費	3,774,000	3,068,500	705,500
	セミナー等費(公1)※1	900,000	917,000	△ 17,000
	セミナー等費(公2)※2	170,000	432,000	△ 262,000
	電話対応技能検定費※3	106,000	371,000	△ 265,000
管 理 費		1,017,920	954,500	63,420
	会 議 費	550,000	300,000	250,000
	諸 経 費	467,920	654,500	△ 186,580
内部取引支出※5		794,936	823,000	△ 28,064
(当期支出合計)(ウ)		6,762,856	6,566,000	196,856
当 期 収 支 差 額 (ア)-(ウ)		△ 12,856	△ 277,500	264,644
次期繰越収支差額(イ)-(ウ)		1,001,676	739,473	262,203
支 出 合 計		7,764,532	7,305,473	459,059

※1 セミナー等収入(公1)、セミナー等費(公1)：電話対応、ビジネスマナー等研修事業にかかる収入、費用

※2 セミナー等収入(公2)、セミナー等費(公2)：ICT活用推進事業にかかる収入、費用

※3 電話対応技能検定収入、電話対応技能検定費：電話対応技能検定事業にかかる収入、費用

※4 内部取引収入：支部運営経費等の地区協会負担金(通信料、年会費請求・回収委託費等)

※5 内部取引支出：協会本部の負担金(社内システム使用料、通信料等)

【参考】

福井支部役員等

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会 福井支部 役員等

■福井支部役員

(順不同・敬称略)

役 職	氏 名	地区協会役職	事業所役職
理事・支部長	清水 則明	福井地区協会 会長	福井商工会議所 副会頭 ラニイ福井貨物株式会社 取締役会長
理事・支部長代行	嶋田 浩昌	福井地区協会 常任理事	福井商工会議所 専務理事
理事	加藤 敏治	大野勝山地区協会 会長	大野商工会議所 副会頭 株式会社加藤製缶 代表取締役社長
理事	山本仁左衛門	武生地区協会 会長	武生商工会議所 会頭 カラヤ株式会社 代表取締役会長
理事	佐々木 英二	鯖江地区協会 会長	鯖江商工会議所 副会頭 エクセル眼鏡株式会社 代表取締役
理事	奥井 隆	敦賀地区協会 会長	敦賀商工会議所 会頭 株式会社奥井海生堂 代表取締役社長
理事	山岸 博之	小浜地区協会 会長	小浜商工会議所 副会頭 有限会社ホテルアーバンポート 代表取締役会長
監事	谷口 幸徳	福井地区協会 理事	株式会社福井銀行 執行役 本店エリア統括店長兼本店営業部長
監事	松中 尚	敦賀地区協会 監事	敦賀信用金庫 常務理事 総合企画室長

■顧問

顧問	北大宅 勉	—	西日本電信電話株式会社 福井支店 支店長
顧問	倉田 鋼志	福井・大野勝山・鯖江・ 武生・敦賀・小浜地区 協会 顧問	西日本電信電話株式会社 福井支店 ビジネス営業部長

(参考資料)

2024年度事業実施状況等

1 テレコミュニケーション教育事業

(1) 電話対応コンクールの開催

大会名	開催月日	開催場所	参加者数	審査委員
福井県 代表選考 予選会	8月 28日	集 合 形 式 武 生 商 工 会 館	62名	オフィス RIN 代表 福井放送株式会社 福井商工会議所 専務理事 武生商工会議所 専務理事 オフィスフジタ 奥田 郁子 氏 森本 茂樹 氏 嶋田 浩昌 氏 藤原 義浩 氏 藤田 順子 氏
福井県 代表選考会	10月 3日	集 合 形 式 福 井 商 工 会 議 所	31名	オフィス RIN 代表 日本放送協会福井放送局 福井テレビジョン放送株式会社 福井商工会議所 専務理事 敦賀商工会議所 専務理事 オフィスフジタ 奥田 郁子 氏 高 嶺 亮 氏 原 渕 由 布 奈 氏 嶋田 浩昌 氏 奥井 純子 氏 藤田 順子 氏

(2) 電話対応コンクール審査結果

■福井県代表選考予選会（優秀賞受賞者）《敬称略》

氏 名	事 業 所 名	地 区 協 会 名
高倉 友愛	すててこ株式会社	福井地区協会
三上 唯	損害保険ジャパン株式会社 北陸保険金サービス部	福井地区協会
佐々木 光	損害保険ジャパン株式会社 北陸保険金サービス部	福井地区協会
伊與 彩音	ユニフォームネクスト株式会社	福井地区協会
川南 有希奈	福井信用金庫	福井地区協会
高田 明日香	損害保険ジャパン株式会社 北陸保険金サービス部	福井地区協会
前田 弥生	すててこ株式会社	福井地区協会
伏見 理夏	株式会社 ALL CONNECT	福井地区協会
池上 典子	三井住友海上火災保険株式会社 北陸損害サポート部	福井地区協会
尾谷 美咲	すててこ株式会社	福井地区協会
加藤 智也	福井商工会議所	福井地区協会
志村 真菜	株式会社 ALL CONNECT	福井地区協会
長谷部 洋世	株式会社 ALL CONNECT	福井地区協会
深尾 麻百合	株式会社 ALL CONNECT	福井地区協会
佐々木 茜	フリックイン福井株式会社 アズイン福井	福井地区協会
伊藤 未緒	株式会社 ALL CONNECT	福井地区協会
水野 美紀	株式会社 六大陸	福井地区協会
佐藤 杏菜	ユニフォームネクスト株式会社	福井地区協会

齊藤 麻理子	株式会社黒川クリーニング社	福井地区協会
安達 琉依	福井信用金庫	福井地区協会
牧野 俊介	株式会社 ALL CONNECT	福井地区協会
天谷 裕子	NTTビズネスソリューションズ株式会社 コンサルティングセンタ（福井）	福井地区協会
加藤 鈴乃	福井信用金庫	福井地区協会
豊岡 尚子	すててこ株式会社	福井地区協会
稲垣 恵	株式会社黒川クリーニング社	福井地区協会
木下 璃想愛	株式会社 北陸銀行 神明支店	鯖江地区協会
佐々木 康仁	損害保険ジャパン株式会社 北陸保険金サービス部	福井地区協会
高島 智子	三井住友海上火災保険株式会社 北陸損害サポート部	福井地区協会
吉田 日菜	株式会社 六大陸	福井地区協会
山田 莉子	ユニフォームネクスト株式会社	福井地区協会
石坂 滯佳	株式会社 ALL CONNECT	福井地区協会

■県代表選考会（受賞者）《敬称略》

優 勝	福井地区協会	高倉 友愛	すててこ株式会社
準 優 勝	福井地区協会	池上 典子	三井住友海上火災保険株式会社 北陸損害サポート部
第 3 位	福井地区協会	佐々木 光	損害保険ジャパン株式会社 北陸保険金サービス部
優 秀 賞	武生地区協会	伏見 理夏	株式会社 ALL CONNECT
優 秀 賞	福井地区協会	豊岡 尚子	すててこ株式会社
新 人 賞	福井地区協会	三上 唯	損害保険ジャパン株式会社 北陸保険金サービス部

■電話対応コンクール全国大会

本 部	11月15日	高知県立県民文化ホール （高知県高知市）	出場者 56名	福井県代表（福井地区協会） 高倉 友愛 氏（すててこ株式会社）
-----	--------	-------------------------	------------	------------------------------------

(3) 電話応対等研修会の開催

■電話応対・ビジネスマナー等研修会

協会名	開催月日	開催場所	参加者数	研修会名	講師
嶺北	4月9日	福井県生活学習館	22名	新入社員研修	協会契約講師 奥田 郁子 氏
	4月10日		23名		
	4月11日		20名		
嶺南	4月5日	プラザ萬象	23名		
嶺北	11月21日	福井県生活学習館	14名	フォローアップ研修	協会契約講師 奥田 郁子 氏
	11月22日		17名		
嶺南	11月26日	プラザ萬象	6名		

■会員事業所先電話応対研修会

地区協会名	会員事業所数	回数	参加者数	備考
福井地区協会	2	2	20名	株式会社 ALL CONNECT
			15名	AOI ホールディングス株式会社
鯖江地区協会		1	8名	税理士法人 川中経営

■電話応対技能検定【2級、3級、4級】

支部	5月8日	福井県生活学習館	3級受験者7名 4級受験者7名	3級講義=4月17日、24日、5月8日 試験結果=5名合格/7名 4級試験結果=6名合格/7名
支部	6月5日	福井県生活学習館	受験者1名	2級講義=5月23日、29日、6月5日 試験結果=1名合格/1名
支部	6月11日	ジャストコーポレーション (特例実施)	受験者15名	4級試験結果=10名合格/15名
支部	9月4日	福井県生活学習館	3級受験者7名 4級受験者3名	3級講義=8月22日、29日、9月4日 試験結果=5名合格/7名 4級試験結果=3名合格/3名
支部	12月4日	福井県生活学習館	受験者2名	4級試験結果=合格者無し
支部	3月5日	ALL CONNECT	受験者2名	4級試験結果=2名合格/2名

2 ICT活用推進事業

■ICTビジネスセミナー

支 部	3月12日	3 県合同オンライン経営 セ ミ ナ ー	視聴者 40名	「人工知能（AI）でビジネスはどう変わる？」 ～売れる商品名は計算で解明できる！？ 「オノマトペ」の魅力～ 講師＝国立大学法人電気通信大学 副学長 坂本 真樹 氏
-----	-------	-------------------------	------------	---

■講演会

協 会 名	開催月日	開 催 場 所	参加者数	テ ー マ	講 師
鯖 江	7月11日	鯖 江 商 工 会 議 所	12名	世の中の生成 AI の 動きについて	西日本電信電話株式会社 福井ビジネス営業部 平山 倫崇 氏
大野勝山	7月 7日	勝 山 商 工 会 議 所	15名	世の中の生成 AI の 動きについて	西日本電信電話株式会社 福井ビジネス営業部 平山 倫崇 氏
小 浜	7月11日	ホ テ ル ア ー バ ン ポ ー ト	29名	お笑い芸人流 すぐに使えて、しっかり伝わる コミュニケーション術	お笑い芸人 桑山 元 氏
武 生	7月20日	武 生 商 工 会 館	12名	世の中の生成 AI の 動きについて	西日本電信電話株式会社 福井ビジネス営業部 平山 倫崇 氏
敦 賀	7月24日	ニ ュ ー サ ン ピ ア 敦 賀	41名	トヨタで学んだ組織マシ ャ ッ ト ～チャレンジできる組織に 変革させる～	元トヨタ自動車のマシ ャ ッ ト 部長 A.T.Marketing Solution 代表 CEO 高田 淳史 氏
福 井	7月28日	福 井 商 工 会 議 所 ビ ル	66名	「これからの人材育成」 社員一律から個々の成長を 起点に考える積み木型 人材育成	元ニトリホールディングス 理事 /組織開発室室長 トイトイ合同会社 代表 永島 寛之 氏

(本部、他支部等開催) ※福井支部独自開催は除く

【2024年度・オンラインICTセミナー一覧】 ※福井エリア個別開催除く

No.	開催日	講演名・講座名等	講師	共催	テーマ
1	2024年4月25日	経営者のための情報セキュリティ講座	川畑文雄氏	NTT東日本 NTT西日本	セキュリティ
2	2024年5月14日	デジタル技術が導き、地域課題の解決とまちづくりの推進	増田寛也氏 上野晋一郎氏	NTT東日本 NTT西日本	DX
3	2024年6月20日	2024 サイバーセキュリティ対策講座①	警視庁担当官 NTT東日本 日本マイクロソフト	NTT東日本 NTT西日本	セキュリティ
4	2024年7月25日	大前さんに「AI経営の最前線」を学ぼう ～AI活用によって生産性を向上させる経営戦略～	大前研一氏 加藤聖也氏	NTT東日本 NTT西日本	AI
5	2024年8月6日	ビジネスパーソンDXリテラシー講座 ～DXとは何かを確認して、起業でDXをどう推進するのかを学びましょう～	川畑文雄氏 前田敦氏	NTT東日本 NTT西日本	DX
6	2024年9月11日	デジタル人材がいない中小企業のためのDXセミナー 「中小企業には中小企業のDXがある」	長尾一洋氏 三谷穂美氏	NTT東日本 NTT西日本	DX
7	2024年10月18日	2024 サイバーセキュリティ対策講座②	警視庁担当官 川畑文雄氏	NTT東日本 NTT西日本	セキュリティ
8	2024年11月8日	AIがつなぐ、デジタルコンテンツが導く、働き方改革の将来像	中村伊知哉氏 大西佐知子氏	NTT東日本 NTT西日本	AI
9	2024年12月13日	2024DXリテラシー講座 「井村屋グループ(株)におけるDXの取り組みに関するご紹介」	岡田孝平氏	NTT東日本 NTT西日本	DX
10	2025年1月14日	大前さんに「世界の潮流2024」を学ぼう	大前研一氏 NTT e- DroneTechnology	NTT東日本 NTT西日本	AI
11	2025年2月19日	「生成AIの動向とNTT西日本の取組について」 「女性視点からの女性活躍」	近藤重邦氏 吉田恵里香氏	NTT西日本 四国支店	AI
12	2025年2月12日	2025サーバーセキュリティ対策講座【第一弾】 皆様の職場が狙われています！今すぐ適切な対策を！	警視庁担当官 ユーザ協会	NTT東日本 NTT西日本	セキュリティ
13	2025年2月20日	企業のDXを加速する 「リスクの重要性」「ノーコードツール活用」セミナー	三谷穂美氏	NTT東日本 NTT西日本	セキュリティ
14	2025年2月26日	変革の波と共に乗り越える羅針盤 歴史に学ぶリーダーの条件	伊東孝司氏 加来耕三氏	NTT西日本 東海支店	AI その他
15	2025年3月12日	【北陸3支部合同セミナー】 人工知能(AI)でビジネスはどう変わる？	坂本真樹氏		AI
16	2025年3月26日	「中小企業におけるDXの現在地とDX推進政策の概要」 「テクノロジーを通じて未来を描く」	栗原亮介氏 安野貴博氏	NTT東日本 NTT西日本	DX

3 共催事業等の参加状況（2024年度）

（単位：人）

行 事 名	福 井	大野・勝山	武 生	鯖 江	敦 賀	小 浜	計
新 入 社 員 研 修	44	7	14	1	23	—	89
フ ォ ロ ー ア ッ プ 研 修	23	—	1	4	4	2	34
電話対応コンクール事前研修（基礎） ※集合&YouTubeによる映像配信	85	1	1	4	7	4	102
電 話 応 対 コ ン ク ー ル	59	—	1	1	1	—	62
電 話 応 対 コ ン ク ー ル 強 化 研 修 （福井県代表選考会出場対象者研修）	30	—	—	1	—	—	31
電 話 応 対 技 能 検 定 2 級	1	—	—	—	—	—	1
電 話 応 対 技 能 検 定 3 級	12	—	—	—	2	—	14
電 話 応 対 技 能 検 定 4 級	27	—	—	—	2	—	29
講 師 派 遣 （ 電 話 応 対 研 修 ）	35	—	—	8	—	—	43
標的型攻撃メール予防訓練サービス	6	—	1	—	1	2	10
e ラ ー ニ ン グ サ ー ビ ス	13	—	11	6	4	3	37
合 計	335	8	29	25	44	11	452

前年度比較＋5（福井地区：＋20、大野勝山地区：▲6、武生地区：＋5、鯖江地区：▲13、
敦賀地区：＋2、小浜地区：＋2）

「参加者総数」2020年:338、2021年:430、2022年:437、2023年:442

【注】標的型攻撃メール予防訓練サービス、eラーニングサービスは、参加事業者数